

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(3月中に記入)

担当者が入力

事務事業名	全国離島交流中学生野球大会参画事業						担当課	社会教育課			担当係	生涯スポーツ係						
長期振興計画の位置づけ	施策	社会体育の充実						課長名	松下 成悟			担当者名	川畑浩一郎					
	基本事業	スポーツ・レクリエーションの振興						事業年度	H22 -			(H29)	052001					
開始のきっかけや取り巻く状況	平成22年度に第3回大会を種子島大会として実施したことから、これまで参加してきており、平成30年度で11回を迎え、種子島会場も2順目となり、これまで交流を図ることができた。今後の出場については他事業との関係もあり、検討する必要がある。									予算事業コード	(H30) 186301							
事業概要	対象	離島中学生野球大会に参加する中学生									事業主体	市						
	手段	野球を通じて、交流を深めてもらう。									実施計画	-	総合戦略	-				
	意図	郷土に誇りを持つことができる。									過疎	-	辺地	-				
年度別	前年度(平成28年度)						当該年度(平成29年度)						次年度(平成30年度)					
事業内容	種子島中学校への参加確認、実行委員会及び種子島中学校との連携、参加選手の照会、ヤマト運輸応援旗のメッセージ記入依頼、応援式開催。平成27年度より、チームに帯同しチームのサポートをする。(島根県隠岐の島への派遣)						種子島中学校への参加確認、実行委員会及び種子島中学校との連携、参加選手の照会、ヤマト運輸応援旗のメッセージ記入依頼、応援式開催。平成27年度より、チームに帯同しチームのサポートをする。(沖縄県石垣島への派遣)						種子島中学校への参加確認、実行委員会及び種子島中学校との連携、参加選手の照会、ヤマト運輸応援旗のメッセージ記入依頼、応援式開催。(種子島開催)					
従事職員数(人)	担当課	2	関係課	0	臨時	0	担当課	1	関係課	0	臨時	0	担当課	2	関係課	0	臨時	0
財源	決算額	1,653 (千円)					決算額	2,170 (千円)					予算額	2,000 (千円)				
	002 普通旅費	153					002 普通旅費	170					002 普通旅費	0				
	001負担金	1,500					001負担金	2,000					001負担金	2,000				
	特定	0 一般		1,653			特定	0 一般		2,170			特定	0 一般		2,000		
評価指標(単位)	前年度(平成28年度)						当該年度(平成29年度)						次年度(H30)				前年度 評価理由	
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値				中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値			中間値 (事中評価)	目標値					
地元参加者数(人)	18	19	18				18	12	18			14	18			参加についての学校との連携が必要となる。参加することの意義について生徒へ理解させることも大事である。		
取組内容		離島中学生野球大会に参加する中学生が一堂に集まり、交流親善試合を行う。また元プロ野球選手村田兆治氏が監督である「まさかりドリームス」による野球教室に参加し、交流を深める。																
成果		第3回大会が種子島で開催され、それ以降継続して参加している。第8回大会には優勝を果たし、その後も3年生を主体に参加してきており、交流を深めている。																
課題		経費負担が多く、補助金等が削減傾向にあるなかで、効果を踏まえた上での予算措置が必要となってくる。																

②-1 振り返り(Check)

課長が記入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
	仕事の目的は正しく認識されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？	△
		2	市が税金を投入して行うべき仕事か？	△
		3	正しい成果認識による成果の把握ができていないか？	△
	今後も有効に機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？（限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか）	△
		2	類似の事業が他にないか？（一本化しても良いような仕事 that 他課や他団体(国県等)にはないか）	○
		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？	○
	効率的に行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？	△
		2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？	△
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？	○
2		受益者負担は適正に設定されているか？（非受益者から見て納得が得られるか）	△	

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度への取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課長が記入	評価の視点	主な見るべきポイント		check	
	補助金・負担金支出により団体等を支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？	△	
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？	△	
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	○	
	現金・現物の給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	②【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠及び今後の課題	同じ境遇に置かれている子ども同士の交流活動は、郷土を思う心を醸成させる、きっかけとなり、その機会を与えることは、妥当とあると考えるが、ただ試合をするためだけに参加するのではないということを教育することも必要である。今後、「選手間・島と島との交流活動」の把握についても学校と連携し取り組む必要がある。		
B					

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

(3月中に記入)

担当者 が 入 力	事務事業名		長浜市少年スポーツ交流事業				担当課		社会教育課		担当係		生涯スポーツ係													
	長期振興計画 の位置づけ		施策		社会体育の充実				課長名		松下 成悟		担当者名		川畑浩一郎											
			基本事業		スポーツ・レクリエーションの振興				事業年度		S63 -		(H29)		187109											
	開始のきっかけや 取り巻く状況		滋賀県長浜市と西之表市が友好都市盟約を結び、相互の交流を深めるにあたり、青少年のスポーツ交流を通じて、信頼と友情を築き、併せて青少年の健全育成と両市の発展に役立てることを目的に、昭和63年に開始された。								予算事業コード (H30)		165705													
	事業概要		対象		市スポーツ少年団員								事業主体		市											
			手段		両市のスポーツ交流を通じて信頼と友情を築いてもらう。								実施計画		-		総合戦略		-							
			意図		青少年が、豊かな心身を育むことができる。								過疎		-		辺地		-							
	年度別		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)															
	事業内容		本事業は、両市の青少年が交互にそれぞれの市を訪問して交流を深めていて、平成28年度で29回目を迎え、西之表市スポーツ少年団員7名、指導者4名が長浜市を訪問した。(派遣者の募集、補助金交付事務、少年スポーツ交流帯同等)				平成29年度は、長浜市スポーツ少年団員が本市を訪問し、第30回記念大会として、開催した。(マリンスポーツ、ホームステイ、記念植樹等)				平成30年度は、西之表市スポーツ少年団員を長浜市へ派遣する。(派遣者の募集、補助金交付事務、少年スポーツ交流帯同等)															
	従事職員数(人)		担当課		1		関係課		0		臨時		0		担当課		1		関係課		0		臨時		0	
	財源		決算額		761		(千円)		決算額		266		(千円)		予算額		758		(千円)							
			002普通旅費		99				002補助金		266				002普通旅費		96									
			002補助金		662										002補助金		662									
			特定		0		一般		761		特定		0		一般		266		特定		0		一般		758	
	評価指標(単位)		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度 評価理由											
中間値 (事中評価)			実績値 (事後評価)		目標値		中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値		中間値 (事中評価)				目標値									
団員数(人)		274		274		300		264		264		300		280		交流事業の内容見直しの協議も必要 となってくる。										
スポーツ交流参加人数 参加者数(人)		11		11		14		16		16		16		14												
取 組 内 容		本市のスポーツ少年団員を隔年ごとに長浜市へ派遣しホームステイを通じ、スポーツ交流を行っている。次年度は長浜市の団員が、本年度派遣した団員宅にホームステイする仕組みをとっている。 長浜市ではスキー体験、本市においてはマリンスポーツを主に体験し、交流を図っている。																								
成 果		両市のスポーツ交流を通じて、青少年の豊かな心身を育むことができている。																								
課 題		少子化が進み本市のスポーツ少年団員数が減少してきているが、この事業への参加者も少なくなっている。																								

②-1 振り返り(Check)

課長 が 記 入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト												check			
	仕事の目的は 正しく認識 されているか		1		総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？												○	
			2		市が税金を投入して行うべき仕事か？												○	
			3		正しい成果認識による成果の把握ができているか？												△	
	今後も有効に 機能し続けるか		1		成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)												△	
			2		類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事か他課や他団体(国県等)にはないか)												○	
			3		市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？												○	
	効率的に 行われているか		1		成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？												△	
			2		業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？												○	
	公平な仕組みになっているか		1		同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？												○	
2			受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)												○			

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？	△	
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？	○	
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	○	
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠 及び今後の課題	スポーツ交流を通じて友情と信頼を築き、隔年ごとに長浜市、西之表市で交流活動を実施しており公平であり、なおかつ、ホームステイをするところにこの交流事業の意味があると考えます。反面、年々スポーツ少年団の団員数の減少により、この事業に参加する団員も少なくなり、今後事業内容の見直し等、これまでの実績を踏まえ検証する必要もある。		
	A				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

(3月中に記入)

担当者 が 入 力	事務事業名		スポーツ交流合宿誘致事業				担当課		社会教育課		担当係		生涯スポーツ係											
	長期振興計画 の位置づけ	施策	社会体育の充実				課長名		松下 成悟		担当者名		川畑浩一郎											
		基本事業	スポーツ・レクリエーションの振興				事業年度		H29 -		(H29) 予算事業コード		208024											
	開始のきっかけや 取り巻く状況		2020年に東京オリンピック及びかごしま国体が開催されることを契機に、本市のスポーツ競技力の向上と選手の 発掘と育成を図る。										(H30)		186311									
	事業概要	対象	市民及び島外の合宿者										事業主体		市									
		手段	スポーツの競技力向上のために学生・実業団チームの合宿を誘致し、スポーツ交流を図る。ま た2020年に向けたかごしま国体に向け、地元の選手の育成強化に努める。										実施計画	-	総合戦略	-								
		意図	島外の中学生・高校生・大学生・実業団チームとの交流をすることで、スポーツの技術力向上を 図ることができる。										過疎	-	辺地	-								
	年度別		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)													
	事業内容						スポーツ交流合宿誘致を推進するために、 合宿する島外の高校生・大学生・実業団 チームに宿泊費の一部を助成する。				スポーツ交流合宿誘致を推進するために、合宿 する島外の高校生・大学生・実業団チームに宿泊 費の一部を助成する。													
	従事職員数(人)		担当課		関係課		臨時		担当課	2	関係課	0	臨時	0	担当課	2	関係課	0	臨時	0				
	財源	決算額		(千円)				決算額		535 (千円)				予算額		720 (千円)								
		特定		一般				特定		0 一般				535				特定		0 一般				720
	評価指標(単位)		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度 評価理由									
			中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値		中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値		中間値 (事中評価)	目標値												
合宿団体数(団体)						4	4	10			12													
合宿者述べ人数(人)						661	661	400			500													
取 組 内 容		合宿を通じて、島外の中学生・高校生・大学生・実業団チームとのスポーツ交流を図る。 交流人口の増加を促進する。																						
成 果		スポーツの技術力向上を図ることができる。 交流人口の増加に伴い、経済効果につながる。																						
課 題		合宿する競技場及び宿泊先までの交通手段の確保をする必要がある。																						

②-1 振り返り(Check)

課長 が 記 入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト										check
	仕事の目的は 正しく認識 されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？										○
		2	市が税金を投入して行うべき仕事か？										○
		3	正しい成果認識による成果の把握ができていないか？										○
	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)										○
		2	類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事か他課や他団体(国県等)にはないか)										○
		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？										○
	効率的に 行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？										○
		2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？										○
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？										○
2		受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)										○	

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の実行へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課長が記入	評価の視点	主な見るべきポイント		check	
	補助金・負担金支出により団体等を支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？	○	
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？	△	
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	○	
	現金・現物の給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	②【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠及び今後の課題	一年目の事業ということで、手探りの状態であったが、これまで合宿利用をしていた団体からは、喜ばれ次年度利用の要望も頂く。施設については、現在ある施設を修繕等しながら利用して頂くが、市スポーツ合宿等誘致推進協議会委員からは、施設の整備改修要望あり。(施設整備をしないと合宿増は見込めないとの意見。)		
A					

事務事業マネジメントシート
～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

(3月中に記入)

担当者が入力	事務事業名		市民体育祭開催事業						担当課		社会教育課		担当係		生涯スポーツ係											
	長期振興計画の位置づけ		施策		社会体育の充実				課長名		松下 成悟		担当者名		川畑浩一郎											
			基本事業		スポーツ・レクリエーションの振興				事業年度		S37 -		(H29)		208009											
	開始のきっかけや取り巻く状況		市民総参加のもとに、スポーツを通して市民相互の親睦を図り、スポーツの大衆化、生活化を目指し、明るく健康な市民の醸成に努めることを目的に、昭和37年に開始された。										(H30)		186312											
	事業概要		対象		市民				事業主体		市		実施計画		- 総合戦略 -											
			手段		市民体育祭やその練習等を通じて親睦と交流を図る。																					
			意図		心身ともに健康でゆとりある生活を送ることができる。				過疎		- 辺地 -															
	年度別		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)															
	事業内容		市民体育祭運営協議会事務、参加選手募集、競技役員選任、補助金交付、社会体育功労賞選定、競技要項作成事務、各種団体リハーサル、グラウンド整備、大会当日業務				市民体育祭運営協議会事務、参加選手募集、競技役員選任、補助金交付、社会体育功労賞選定、競技要項作成事務、各種団体リハーサル、グラウンド整備、大会当日業務				市民体育祭運営協議会事務、参加選手募集、競技役員選任、補助金交付、社会体育功労賞選定、競技要項作成事務、各種団体リハーサル、グラウンド整備、大会当日業務															
	従事職員数(人)		担当課		9		関係課		120		臨時				担当課		9		関係課		120		臨時			
	財源		決算額 336 (千円)				決算額 299 (千円)				予算額 433 (千円)															
			001消耗品費 30				001消耗品費 30				001謝金 91															
			002燃料費 3				002燃料費 0				002消耗品費 30															
			003食糧費 1				003食糧費 1				003食糧費 2															
			002手数料 0				002手数料 6				002手数料 7															
038機材借上料 42				038機材借上料 42				038機材借上料 43																		
		055市民体育祭校区 260				055市民体育祭校区 220				055市民体育祭校区 260																
		特定 0 一般 76				特定 0 一般 299				特定 0 一般 433																
評価指標(単位)		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度評価理由												
		中間値(事中評価)		実績値(事後評価)		目標値		中間値(事中評価)		実績値(事後評価)		目標値				中間値(事中評価)		目標値								
スポーツ活動に取り組んでいる人の割合		39.7		39.7		43		41		44.7		41		42		大会運営の見直しや各校区に配慮した競技内容の検討も必要である。										
取組内容		各地区公民館をAブロック、Bブロックに分けて、それぞれブロックごとの対抗方式で各種目で競技を行い、併せて女性によるマスゲーム、幼児による集団演技等が華を添え、市の行事としては、最大規模の行事として市民に定着している																								
成果		スポーツ・レクリエーションを通じて、心身ともに健康でゆとりある生活を送ることができる。																								
課題		人口減少・高齢化に伴い参加できない地区公民館があり、競技種目の見直し等検討をしてくている。																								

②-1 振り返り(Check)

課長が記入

評価の視点		主な見るべきポイント										check	
仕事の目的は正しく認識されているか		1		総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？								○	
		2		市が税金を投入して行うべき仕事か？								○	
		3		正しい成果認識による成果の把握ができていないか？								○	
今後も有効に機能し続けるか		1		成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)								○	
		2		類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事か他課や他団体(国県等)にはないか)								○	
		3		市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？								○	
効率的に行われているか		1		成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？								○	
		2		業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？								○	
公平な仕組みになっているか		1		同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？								○	
		2		受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)								○	

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？	○	
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？	○	
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	○	
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠 及び今後の課題	必要最小限の経費で事業を行っている。市主催の本市最大のスポーツイベントであり、スポーツを通じて市民相互の親睦を図っている。少子高齢化により小規模校区の参加が厳しくなっており、大会運営(競技種目、特に高齢者の出場種目)の見直しが必要である。		
	A				